



PHOTO：観光人材育成プログラム実施業務（札幌市）

## 2023年度のふりかえりとこれからと

2023年度は、総合計画後期基本計画や景観計画等の策定支援から、観光人材の育成、エリアマネジメントにつながる実証実験の実施等のご支援をさせていただきました。特に、地域コミュニティ活性化については、札幌市のみならず道内や道外からもたくさんのお問合せがあり、九州や関西、関東などでそれぞれの課題解決に向けた研修会・ワークショップ等をさせていただきました。最近では、デジタル化の推進や若い世代・子育て世代の参画に向けた取組を始めている町内会様・自治会様も多く、少しずつActionにつながっていることを実感しています。

2024年度も、総合計画や都市計画など、まちづくりの計画策定等のご支援から、エリアマネジメントやコミュニティマネジメントなど、まちづくり活性化に向けた企画・運営等までのご支援をさせていただき、社会に貢献していきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 観光人材育成プログラム実施業務

さっぽろぶらり手帖URL  
<https://porocon.jp>

本事業は、札幌市内の観光関連事業に従事する方々が、ワークショップを通じて、札幌ならではの観光コンテンツを発掘・開発することで観光案内のスキルアップを図るとともに、観光客の多様なニーズへの対応と満足度の向上を目指すことを目的としています。

2期目となる今回は、新たなまち歩きのルートを検討する「コンシェルジュワークショップ」とまち歩きガイドの育成を支援する「ポロコンガイド育成ワークショップ」に分かれ、実施しました。昨年度同様、今年度の成果は、「SAPPORO ぶらり手帖」(WEB・冊子)でご覧いただけます！



今後は、本事業に参加してくださったメンバーが主体となり、サッポロコンシェルジュがつくりあげたまち歩きツアーを観光客に向けて展開したり、札幌の観光が盛り上がるコンテンツを発信していく予定です。札幌をこよなく愛するメンバーがお届けする、思いもよらない魅力に出会えるポロコンまち歩きツアーにご注目ください！



## 「令和5年度町内会アドバイザー派遣制度等」企画運營業務

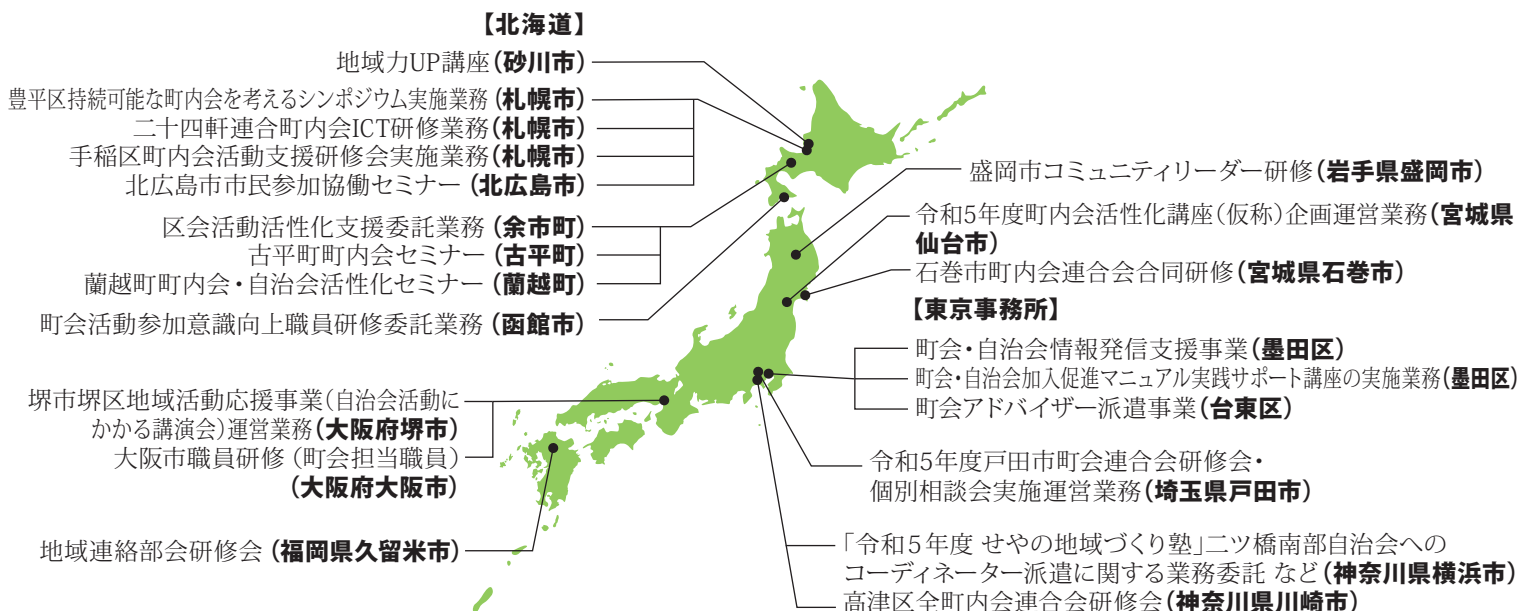
町内会活動の更なる活性化のため、今年度は「町内会アドバイザー派遣制度」、「町内会未来塾」を連動して実施。さらに、これからの町内会を担う人材育成プログラム「未来塾+LABO」や、町内会活動における個人情報の取扱いに係る支援を充実することで、多世代が参加する町内会運営を目指しました。

町内会アドバイザー派遣制度では、担い手不足や役員の高齢化、デジタル化の推進などで課題を抱える13地区を支援させていただきました。「未来塾+LABO」では、学生や子育て世代などを対象に地域コミュニティについて考え、これからの町内会に向けた想いを伺いました。



地域コミュニティの中核となる町内会の担い手不足や加入促進に向けては若い世代や働き世代の参画が大切です。今後も、町内会が抱えるそれぞれの課題に寄り添った支援を通じて、町内会活性化やコミュニティマネジメントなどのまちづくりを行っていきます。

ほかにも、全国各地で地域コミュニティの活性化をご支援させていただきました！



## 地域交流拠点宮の沢の歩きたくなるまちづくりに向けた調査検討業務

本事業は、「居心地が良く歩きたくなるまち」の実現に向けて、モデル地区「宮の沢」で地元企業・地域住民とともに課題や効果的な手法、目指すべき姿を整理することを目的に実施しました。

今年度は、有志の参加者からなる宮の沢ミライ☆ラボによる2回のワークショップとまち歩きフィールドワークを実施し、目指すべき姿をパースとスケッチで表現しました。



宮の沢エリアは、地域資源を多く有している一方で、地域資源の活用機会や安全で歩きたくなる道路空間、広場・公園の活用等の課題があります。

今後は、宮の沢エリアの公共空間(ハード)を活用して、時間の消費ができるコンテンツ(ソフト)や仕掛けの展開、エリアマネジメント組織による運営等が考えられます。今年度の取り組みを経て、今後全市的なウォークブルのガイドラインの検討が進められる予定です。



## 地下鉄宮の沢駅周辺地区空間活用実証実験運営業務

地域交流拠点である宮の沢地区のまちづくりを推進するために、冬期間に宮の沢ふれあい公園を活用した実証実験「スノーライトin宮の沢」を実施しました。

本実験は、対象地域や公園の特性を踏まえ、『にぎわいと交流』をテーマに設定。冬期の公園利活用を検討するため、スノーキャンドルや雪上サッカー、歩くスキー、休憩エリアでの焚き火体験などのコンテンツを用意しました。



開催2日間で延べ600名以上の来場があり、来場者のアンケート調査では満足度が非常に高く、継続的なイベント開催の意向がありました。

継続開催に向けては、運営体制の充実を図るとともに情報発信を強化することが大切との意見がありました。また、宮の沢ふれあい公園だけでなく周辺施設や他のイベントと連携した取組等を進め、エリア一体でにぎわいが創出されていくことが期待されます。



## 浜中町景観計画検討委託事業

浜中町では、自然環境や安全な生活環境を保全し、再生可能エネルギー発電施設との調和を図ると同時に、地域の特性を活かした観光を推進するために景観形成の重要性が高まっています。

そこで、霧多布湿原や琵琶瀬湾など貴重な自然景観や美しい牧草地などの景観を保全し、まちの活性化や産業振興につながる景観づくりを行い、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、景観法に基づいた「浜中町景観計画」の策定を支援しました。



## 小樽市歴史的風致維持向上計画策定支援業務

小樽市は北海道開拓とともに鉄道や港を中心に発展し、繁栄の時代に築かれた歴史文化資源を有しています。さらに現在はそれらが魅力となり、多くの観光客を集めています。そこで、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律による支援制度を活用し、これまで以上に小樽市固有の歴史文化資源を守り育て、後世に継承するとともに、歴史的な環境を活かしたまちづくりを進める「小樽市歴史的風致維持向上計画」の策定を支援しました。



## 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン及び 中期実施計画策定に伴う市民参加事業実業務

札幌市では、令和4年度 から令和13年度までの10年間の市の最上位計画として「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」策定しました。本ビジョンは、目指すべき都市像やまちづくりの重要概念、まちづくりの基本目標等を定める「ビジョン編」と、ビジョン編の実現に向けて行政



が行うことを定めた「戦略編」の2編構成。また、戦略編と並行して、行政が行う個々の事業について定める「中期実施計画(アクションプラン)」の検討も進めています。

本業務では、第2次戦略ビジョンを市民と共有しながら、中期実施計画の策定にあたり市民意見を把握し、反映していくことを目的にワークショップを開催しました。

今年度のワークショップのテーマは「Let's ACTION! SAPPORO」。10年後の札幌の姿をイメージしながら、市民がまちづくりで「動き出し」「発信」していくために何ができるかについてご意見やアイデアを出していただきました。ワークショップは、オープンハウス、ワークショップ、アフターワークショップの3つの形式で開催し、延べ500名以上の市民の方々に参加いただき、テーマごとのご意見とアイデア、ACTION についての意見交換も行いました。中期実施計画策定にあたるテーマごと市民意見を把握し、さらに、市民・企業・行政の協働の機運を醸成することができました。

## 2023年度の主な業務



GLOCAL DESIGN

- ・第2期北見市総合計画後期基本計画策定支援業務(北見市)
- ・小樽市歴史的風致維持向上計画策定支援業務(小樽市)
- ・「令和5年度東区災害時要配慮者支援ネットワーク運用事業」補助業務(札幌市)
- ・令和5年度地下鉄宮の沢駅周辺地区空間活用実証実験運営業務(札幌市)
- ・さっぽろ気候変動タウンミーティング2023運営等補助業務(札幌市)
- ・第9次東神楽町総合計画に係る町民意識調査業務(東神楽町)
- ・令和5年度旭川市民アンケート調査業務(旭川市)
- ・浜中町景観計画策定委託事業(浜中町)
- ・市民集会施設会館運営相談モデル事業(札幌市)
- ・第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン及び中間実施計画策定に伴う市民参加事業実業務(札幌市)
- ・登別市温暖化対策実行計画(区域施策編)改定業務委託(登別市)
- ・「令和5年度町内会アドバイザー派遣制度等」企画運営業務(札幌市)
- ・観光人材育成プログラム(札幌市)
- ・「地域まちづくりビジョン」策定支援業務(札幌市)
- ・豊平区持続可能な町内会を考えるシンポジウム実業務(札幌市)
- ・地域交流拠点宮の沢の歩きたくなるまちづくりに向けた調査検討業務(札幌市)
- ・令和5年度認定・条例個別指定等活用促進業務(札幌市)
- ・「令和5年度市民自治を考える市民ワークショップ」企画運営業務

### CONTACT

☎ 011-272-0333

🌐 <http://www.glocal-d.com>



ホームページ



KITABA  
Facebook



Glocal Design  
Facebook



Matsushima

ねこしほ



Uchizaki

ゆづり



Abe

がんばります